

2018年度事業計画

<公益財団法人電通育英会の事業目的の確認（定款第3条より）>

この法人は、優秀でありながら経済的理由により修学が困難な、日本国内で学ぶ大学生・大学院生に対する奨学金の貸与・給付及び留学生に対する奨学金の給付を行うとともに、育英に関する調査研究・情報提供および大学生等の人材育成活動に対する助成事業を行い、もって社会を牽引する人材を育成することを目的とする。

<2018年度事業計画について>

2018年度は、約7億円の基本財産及び特定資産の運用収益が見込まれます。当面は同程度の収益が継続すると見込まれることもあり、中核事業である奨学事業の質（給付額）および量（人数）の拡充を図ります。具体的には以下の2つ。

- 1) 大学生の学費・生活費等に対応するため、大学生へ給付する奨学金を月額6万円から7万円に増額し、2018年4月入学の新入生だけでなく全奨学生を対象に、2018年4月より給付します。

<大学奨学生の人数（2018年4月時点 一般枠・芸術枠・震災支援枠合計）>

1年生	2年生	3年生	4年生	合計
90名 (想定)	89名	91名	58名	328名 (想定)

- 2) 2018年度募集（2019年4月入学）については、一般・芸術枠の募集人員は前年同様75名程度としますが、採用内定者は90名前後を想定しております。

1-1 大学生への奨学金支給事業 <公益事業1>

(1) 大学生への奨学金給付「一般枠」「芸術枠」「震災支援枠」(高校時予約採用)

2018年度の大学進学予定者に対して、「一般枠」および「芸術枠」の募集を2017年6月に行ない、同年7月の奨学生選考委員会で一般枠88名・芸術枠6名合計94名が内定しました。一浪生の一般枠8名・芸術枠3名合計11名を含めた105名の内定者のうち、2018年4月に当財団指定の大学に入学した者に対し、奨学金の給付を開始します。

「震災支援枠」は、2011年3月11日の東日本大震災で被災した者を対象とした奨学金制度ですが、同年6月の理事会で決議された「特定費用準備資金」からの支出で、2016年度募集をもって終了。

(但し、2016年度に内定した一浪生1名は合否待ち。下記総数には含まず。)

<給付者総数> ※1年生は想定数。

	一般枠	芸術枠	震災支援枠	合計
2015年度採用(4年生)	44名	7名	7名	58名
2016年度採用(3年生)	69名	5名	17名	91名
2017年度採用(2年生)	67名	8名	14名	89名
2018年度採用(1年生)	85名	5名	0名	90名
1~4年生合計	265名	25名	38名	328名

奨学金(入学一時金30万円・受験等助成金10万円を含む) :

(2018年度予算) 3億1,202万円

(2017年度予算) 2億4,020万円

(2) 大学奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付

当財団の大学奨学生を対象に、海外留学・活動を希望する者に対して支援金を給付する制度を2014年度に導入し、2015年度には内容を拡充しました。

大学生海外留学・活動支援金 : (2018年度予算) 850万円

(2017年度予算) 850万円

1-2 大学院生への奨学金給付事業 <公益事業1>

2013 年度採用から、大学院奨学生の対象を当財団の大学奨学生に限定する制度に変更しています。

(1) 大学院奨学生（学部予約）への奨学金給付

2018 年度の大学院進学予定者に対する募集を 2017 年 2 月に行ない、書類選考及び面接選考の結果、9 名を採用内定としました。このうち 3 名は最終的に就職を希望したため、その後内定を辞退。2018 年 4 月に当財団指定の大学院に進学した者（6 名予定）に対し、大学院修士課程 2 年間、月額 8 万円の奨学金を給付します。

2018 度の給付者総数は、2017 年度採用 12 名と合わせて 18 名（想定） となります。

また、2018 年度は下記の通り募集・選考作業を行います。（2019 年度進学）

①給付対象：・当財団の大学奨学生で、書類提出やセミナー参加などの奨学生の義務を果たしていること

- ・キャリア形成上、修士課程への進学に必然性が認められる者
- ・成績優秀で、かつ学費の援助が必要と認められる者

②給付金額：月額 80,000 円、給付期間は 2 年以内とする

③採用者数：10 名程度

④選考方法：大学 3 年生の 2 月に募集し、書類・面接選考を経て、3~4 月に理事長が内定決定。翌年 4 月に当財団指定の大学院に進学した者を奨学生として採用。

大学院生奨学金：（2018 年度予算）1,728 万円
（2017 年度予算）1,728 万円

(2) 大学院奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付

当財団の大学院奨学生を対象に、海外留学・活動を希望する者に対して支援金を給付する制度を 2014 年度に導入し、2015 年度には内容を拡充しました。

大学院生海外留学・活動支援金：（2018 年度予算）150 万円
（2017 年度予算）150 万円

(3) 大学院留学生（現地採用）への奨学金給付

大学院留学生採用は、現在休止中です。

<参考>今後3年間の奨学生数の推移

	2018年度	2019年度	2020年度
大学奨学生①	10年目 <u>328名</u>	11年目 <u>360名</u>	12年目 <u>359名</u>
(一般枠)	265名	306名	322名
(芸術枠)	25名	23名	23名
(震災支援枠)	38名	31名	14名
大学院奨学生②	6年目 <u>18名</u>	7年目 <u>16名</u>	8年目 <u>20名</u>
合計①+②	<u>346名</u>	<u>376名</u>	<u>379名</u>

2. 奨学生対象のセミナー等の実施 <公益事業1>

(1) 奨学生全員に対する「奨学生の集い」の実施

毎年恒例の「奨学生の集い」を、2018年度も現役奨学生全員（約350名）、OBOGの参加希望者、大学関係来賓等が一堂に会して、11月に東京で開催します。

- ・講演：未定
- ・開催日：11月17日（土）
- ・会場：電通ホール（予定）

奨学生の集い関連費：（2018年度予算）1,130万円
（2017年度予算）980万円 *奨学生の交通費含む

(2) 大学1・2年生セミナーの実施

2018年度も大学1年生と2年生に対して、9月に1泊2日の合宿形態で実施します。汎用的スキルや課題解決力の育成などを目的にグループ討議、プレゼン演習等を行い、次世代人材を育成する一助とします。

- ・1年生対象：ロジカルコミュニケーション研修、2年生対象：課題解決力養成研修
- ・開催日：1・2年生とも9月15日（土）～16日（日）
- ・会場：湘南国際村センター（葉山町）

※3年生は（3）参照。4年生については、3月に開催する「修了生交流会」への参加をもって代替します。

大学生1・2年生セミナー関連費：（2018年度予算）1,022万円
（2017年度予算）930万円 *奨学生の交通費含む

(3) 大学院生・大学3年生セミナーの実施

大学院生および大学3年生に対して、セミナーを8月に1泊2日の合宿形態で実施します。2017年度から大学院生・大学3年生同時期に実施し、相互に交流する機会も設けています。

- ・大学院生：奨学生の研究紹介、講師による講演、グループ討議
- ・大学3年生：自己分析とキャリアデザイン研修
- ・開催日：大学院生・大学3年生とも8月25日（土）～26日（日）
- ・会場：クロスウェーブ船橋

大学院生・大学3年生セミナー関連費：
（2018年度予算）725万円
（2017年度予算）630万円 *奨学生の交通費含む

(4) 修了生交流会

卒業・修了予定の大学・大学院奨学生を対象としています。奨学生の卒業・修了後の各界での活躍を期待して、当財団の選考委員など来賓出席のもと、「修了生交流会」を2019年3月東京で開催します。

- ・開催日：2019年3月9日（土）（予定）
- ・会場：帝国ホテル

修了生交流会関連費　：（2018年度予算）　485万円
（2017年度予算）　510万円　　*修了生の交通費含む

3. 大学教育における人材育成に役立つ調査データ・情報の提供 <公益事業 1>

(1) 会報誌「IKUEI NEWS」の発行（年4回）

「大学の今がわかる情報誌」として、高等教育関係者や奨学生への有益な情報提供を目的に、会報誌「IKUEI NEWS」を年4回発行しました。奨学生（OBOG含む）、大学関係に加え、全国の図書館、教育研究機関に向けて各号約4,000部を配布。

2018年度は、4月発行号（vol.82）からリニューアルします。

リニューアルのポイントは以下の通り。

- ・デザインはシンプルに。若者にとってより読みやすいように本文を縦書きから横書きへ。
- ・コンセプトは、「今」を知るから、「未来」を見据える内容に。

「大学の今がわかる情報誌」⇒「学生と『未来』を考える」

- ・取り扱うテーマは、企業や社会の未来への課題や展望について、大学がどのような取り組みを始めているかを紹介するとともに、大学生・大学院生の将来の選択に資するための情報提供を行う。

2018年度の特集企画は、「イノベーションで進化する社会を学ぶ。」

会報誌関連費 : (2018年度予算) 2,900万円
(2017年度予算) 2,600万円

(2) 調査研究

2018年度は、以下2件の調査を実施する予定です。

①京都大学（溝上研究室）と共同で実施するトランジションに関する以下の調査

「高校生・大学生・成人を対象とした、学校から仕事・社会へのトランジション（接続）調査研究を実施」

②東京大学（中原研究室）と共同で実施するトランジションに関する以下の調査

「リーダーシップ教育の効果を縦断研究・追跡調査によって明らかにする」

尚、①および②については、次年度（2019年度）開催予定の「リーダー育英塾（（3）参照）」において調査結果を発表する予定です。

調査関連費 : (2018年度予算) 1,800万円
(2017年度予算) 2,350万円

(3) 「大学生研究フォーラム」から「リーダー育英塾」へ

大学生キャリア意識調査の結果など大学生研究成果の情報発信の場として、また大学生研究の課題発見のための場として、2017年度までフォーラム形式+ワークショップ形式で「大学生研究フォーラム」を10回開催してきました。2018年度からは、ワークショップ形式のみで開催し、「リーダー育英塾」と名称も変更します。

「リーダー育英塾」概要

- ・日程／2018年8月6日（月）～8日（水）＜2泊3日の合宿＞
- ・会場／クロスウェーブ船橋（船橋市）
- ・募集対象者と人数／教育現場を持っている、高校または短期大学・大学の関係者30名
- ・募集方法／3月下旬より電通育英会ホームページにて募集を開始予定（事前課題有）。
応募締め切りは4月末予定。選考は下記講師による。
- ・参加費／ 無料（ワークショップ・宿泊・食事・懇親会にかかわる費用）
※現地までの交通費、会場でのOA備品等のレンタル等、個人にかかわるものは自己負担
- ・講師／
溝上 慎一（京都大学 教授）、中原 淳（東京大学 准教授）、河井 亨（立命館大学 講師）
畑野 快（大阪府立大学 准教授）、川妻 篤史（桐蔭学園 教諭）、舘野 泰一（立教大学 助教）、田中 聡（パーソル総合研究所 主任研究員）

＜2018年1月31日現在 順不同＞

リーダー育英塾関連費 : (2018年度予算) 820万円
(2017年度予算) 680万円

4. 大学生を対象とした人材育成に取り組んでいる非営利組織への資金助成 <公益事業2>

学生を対象とした人材育成を目的として、インターンシップ、ボランティア活動、その他セミナー活動などを行っている大学内組織や民間 NPO 団体を主な対象として、活動計画を広く募集し、助成団体選考委員会にて書類選考・面接選考を行った。

2018 年度は、応募総数 27 件から選考された、「大学・学生枠」5 団体、「一般枠」7 団体（各 100 万円上限）、合計 12 団体に助成します。

人材育成活動助成事業関連費 : (2018年度予算) 1,333万円
(2017年度予算) 1,330万円

2018 年度助成「大学・学生枠」5 団体

OVAl 実行委員会	IBC (International Business Contest) 国際ビジネスコンテスト
東洋大学 加子母木匠塾 <small>かしも もくしょうじゆく</small>	学生による地産材を利用した体験型木造建築実習
法政大学市ヶ谷ボランティアセンター 「チーム・オレンジ」	学生による防災啓発活動と東日本大震災復興支援
UTSummer	UTSummer Hinohara (檜原村 対話リーダーキャンプ)
早稲田大学 平山郁夫記念ボランティアセンター	早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター 主催 ボランティアスタディツアープログラム

2018 年度助成「一般枠」7 団体

NPO 法人 エデュケーション ガーディアン ンシップ グループ	JSA (Japanese Speech Award) 国際交流フェア
一般社団法人 こどもとみらい教育研究会	プログラミング教育 STEM 教育リーダーシップ教員養成プロジェクト
公益財団法人 ジェスク音楽文化振興会	第 39 回霧島国際音楽祭 2018
NPO 法人 大学宇宙工学コンソーシアム	The 9 th CanSat Leader Training Program (空き缶人工衛星製作トレーニング)
NPO 法人 日本教育再興連盟	教育に特化した被災地フィールドワーク およびワークショップの実施
NPO 法人 藤沢市民活動推進機構	“社会を知るため”のワカモノ×NPO インター ンシッププログラム 2018
NPO 法人 BOON	こんぺいとうゼミ～教員志望者の人材育成講座～

2018 年度主要行事 年間日程 予定表

	日 程	場 所
第25回理事会（決算）	6月7日(木)11:00～	帝国ホテル 鶴の間
第8回定時評議員会	6月22日(金)11:00～	帝国ホテル 鶴の間
大学奨学生選考委員会	7月9日(月)13:00～	電通銀座ビル 8F 会議室
リーダー育英塾	8月6日(月)～8日(水)	クロスウェーブ船橋
大学院生・大学3年生セミナー	8月25日(土)～26日(日)	クロスウェーブ船橋
大学1・2年生セミナー	9月15日(土)～16日(日)	湘南国際村センター
第18回資産運用委員会	10月19日(金)13:30～	電通銀座ビル 4F 会議室
第26回理事会（資産運用等）	11月16日(金)11:00～	電通銀座ビル 8F 会議室
奨学生の集い	11月17日(土)予定	電通ホール
2019 年		
助成団体選考委員会	2月予定	電通銀座ビル 4F 会議室
第19回資産運用委員会	2月22日(金)13:30～	電通銀座ビル 4F 会議室
修了生交流会	3月9日(土)12:00～	帝国ホテル予定
第27回理事会（予算）	3月25日(月)11:00～	帝国ホテル予定